

大きかったアメリカ

播磨中学校3年
安藤 文菜さん



よく覚えているのは、名前を呼ばれ初めてホストファミリーと会ったときだ。お父さんに“ぎゅうっ”と抱きしめられて「さすがアメリカ！」と一人感心していた。

ショッピングに行き感じたのは、日本にはない人間関係だった。店員さんのこやかさが違う。あんな笑顔でいてくれると、その場が明るくなった気がする。お客さん同士がぶつかったときも、ソリー、エクスクューズミーと自然に言っており、そういうところが日本にもほしい。

アメリカは家や庭も大きいけれど、人も大きい。背が高だけでなく、心が広いという意味だ。ホストファミリーは、よく笑ったし、よく冗談も言った。家の中がすごく明るく感じた。日本にはないいろんなモノが、アメリカにはある。



ホストファミリーと参加した姉妹都市協会の歓迎会

中学生ら三十人が ライマ市を訪問 姉妹交流の輪を広げる

アメリカ・オハイオ州ライマ市



ライマ市の面積は33.27km²、人口は約46,000人でアレンド郡の中心都市です。平成8年5月、初めてのライマ市からの訪問をきっかけに交流を深め、平成11年3月に播磨町と姉妹都市提携を結びました。

国際的な相互理解と人材育成などを目的に、中学生と国際交流協会員三十人が、八月二十三日から播磨町の姉妹都市オハイオ州ライマ市を訪問しました。参加者は、家族の一員としてホームステイし、アメリカの生活や文化を身近に体験します。また、姉妹都市協会の歓迎会では、ゲームやダンスなどでライマ市民と交流しました。市内の高校やライマ市役所なども訪れ、オタワ川沿いの日本庭園での記念植樹が現地のテレビで放映されるなど、姉妹交流の輪を広げています。



オタワ川沿いの日本庭園での記念植樹

アメリカの家庭での温かいもてなし

公募による町内の中学三年生と国際交流協会員三十人がライマ市でホームステイしました。ライマ市までは長い旅でしたが、異国の風景にみんなが胸を躍らせた。

ホストファミリーとの対面式では、はじめは緊張していましたが、ライマ市の人たちの明るい歓迎を受け、すぐに打ち解け

それぞれの受け入れ家庭に向かいました。

歓迎会ではダンスやゲームで交流

姉妹都市協会員宅での歓迎会では、ホストファミリーに準備してもらったカウボーイハットにバンダナをまき、乗馬を体験しました。

夕方からは、現地のダンスチームの方たちと一緒にダンスを踊ったり、じゃんけんゲームや歌の交換など、にぎやかな交流会となりました。

ライマ市の高校や市役所を見学

ライマセントラルカトリック高校では、各教室にコンピュータなど最新の設備が整っています。昨年、播磨町でホームステイした生徒にも会うことができ、一年ぶりの再会を楽しみました。高校では、生徒たちの勉強に対する意欲の高さ、そして自由な雰囲気の中にも規律を自覚していることが感じられます。

ライマ市役所では、パーガーマ市長から市の名前の由来はチリの首都であるリマから、また市の旗は油田のポンプからと聞き

ました。

日本庭園で記念植樹

ライマ市ではオタワ川沿いに、播磨町で集めた募金を活用して日本庭園を整備しています。両市町の交流を記念して、桜が植樹され、参加者が苗木に水をやりました。これは地元のケーブルテレビでも放映されました。住民間の心のこもった交流は、お互いの理解と友情を育み、世界の平和を築くでしょう。

優しい気持ちを実感



国際交流協会 石川 真美

国際交流協会では、ライマ姉妹都市協会の協力で、二年ごとにライマ市でのホームステイ交流をしています。このたび、高校生三人を含む協会員十一人が中学生と一緒に旅立ちました。

ライマ市は美しく、広々とした公園に住んでいるといった様子で、庭にはリスやハミングバードが来て、郊外にはコーンや大豆畑がどこまでも広がっています。

歓迎会やお祭りなど、ホストと楽しく過ごしました。学校、市役所、病院なども見学し、病院内にリハビリ用として街が再現されるなど、どこも日本とは違っていました。いつも温かく接していただき、ライマ市のスケールの大きさと人々の優しい気持ちに触れました。お世話になった皆さまに感謝します。

プラスになった訪問

播磨南中学校3年
平郡 祐樹くん



最初に、ホストファミリーから話しかけてくれたので、気分がとても楽になった。日本の下駄をプレゼントしたら9歳のラウレンちゃんが、とても喜んで歩き回っていた。また、農場の大きさには度肝を抜かれた。めちゃくちゃ広くて日本とはスケールが違う。

楽しかったのは、カントリーフェアに家族で行ったこと。そこには、馬、ブタ、牛、ヤギなどの動物がいっぱいいた。同じ年のクリストファー君と一緒に、グルグル回る乗り物に何回も乗り、少し酔いそうになった。

アメリカへの思いが変わったし、もっと英語を話せるようになれたらと思う。自分のプラスにもなったし、一つのことを目指してがんばっていききたい。そして、この交流が播磨町にもライマ市にもプラスになればいい。